

# 「六甲山の治山の歴史を訪ねる」ツアーの開催

神戸県民センター六甲治山事務所

## 1. はじめに

かつてはげ山だった六甲山は明治時代に始まった植林によってよみがえり、その後の土砂災害を教訓に治山・砂防施設が整備されてきました。再度山には今も植林のために築かれた明治の石積みの遺構が残っており、数多くの施設が災害防止に効果を発揮し、現在の緑豊かな六甲山の礎になっています。

このような六甲山において、県民の森林保全の大切さへの理解や土砂災害に対する知識、防災意識の高揚を図るため、六甲山の植林と治山の歴史を紹介するとともに、林業遺産として認定された再度山に今なお残る石積み等の遺構や周辺の治山施設、大竜寺周辺に残された照葉樹林を歩いて巡る「六甲山の治山の歴史を訪ねる」ツアーを開催しました。

当ツアーは今年度で5年目の開催になりますが、新型コロナウイルス感染症予防対策として、手指消毒、検温、体調チェック、マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保、バス定員の半分程度になるよう大型バス2台に分かれて乗車してもらう等の予防対策を講じて開催しました。



明治時代の石積み遺構



S44年施工のスリット式治山ダム



案内チラシ

## 2. 開催概要

(日時)

令和3年10月28日(木)

(場所)

西神戸庁舎会議室(講義)

再度公園周辺(現地)

(参加人数) 36名

### ① 講義「六甲山の植林と治山の歴史」

はげ山だった六甲山の植林の歴史や過去の山地災害、治山事業の取り組みなどの講義を行いました。

### ② 現地見学会

(再度公園—大龍寺—蛇ヶ谷—再度公園)

4班に分かれて約3kmの周回コースを案内し、治山施設の設置目的や効果の発揮等の説明に加え、森林インストラクター兵庫による自然観察会を実施しました。

## 3. まとめ

今年度は、感染対策を徹底したうえで、講義を復活させ、募集定員を30名から40名に戻しました。当日行ったアンケートの結果では、回答のあった参加者全ての方から「とてもよかった」、「よかった」との回答がありました。

六甲山系には現在約2,200基余りの治山・砂防施設が設置されていますが、その多くが森林の中でひっそりとたたずんでおり、普通に歩いているとなかなか気づかないものです。このため六甲山の植林や治山の歴史を知ってもらい、実物を見て体感することで、県民の土砂災害に関する知識や防災意識の向上に寄与できるよう、毎年実施していきたいと考えています。



手指消毒を実施



六甲山の植林と治山の歴史を紹介する講義



ソーシャルディスタンスを取って  
治山施設の見学を実施



自然観察会実施状況